

中海出張所便り

第26号(7月26日版)

第2回中海海開きを開催！！

- ・開催日 : 7月22日(金)
- ・主催 : NPO法人「未来守(さきも)リネットワーク」
- ・参加者 : 鳥取・島根両県の関係者、境港・米子両市内の小学生 計約 50人

国土交通省が水環境事業の一環で整備している浅場造成(中海出張所便り第5号参照)箇所において、「未来守リネットワーク」の主催で、第2回目の海開きが開催されました。

出雲河川事務所では昨年度同様、参加した子供たちを対象に中海に入って取った砂の中からアサリの生息調査を行いました。

【出雲河川事務所から子供たちへ中海の環境について説明】



【稚貝の調査】





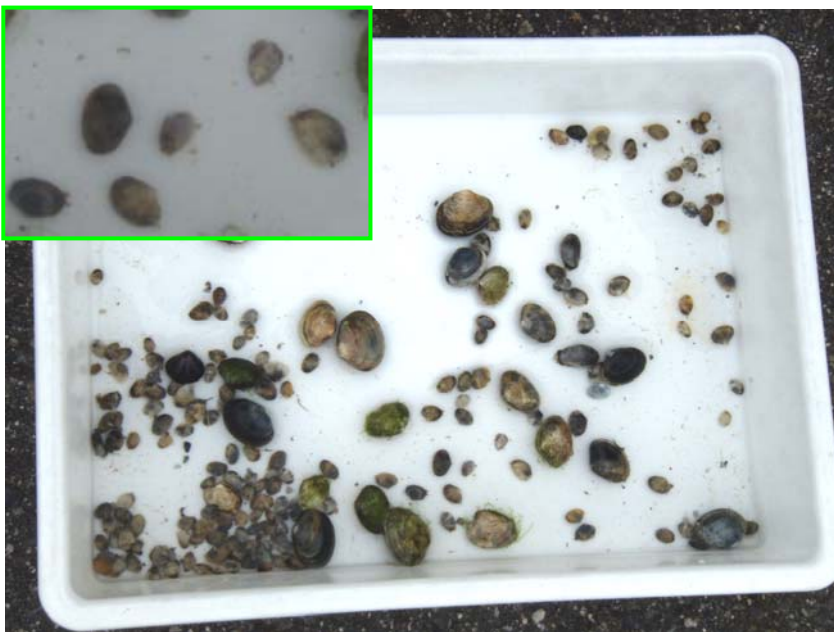
【子供たちの声】

- ・去年泳いだときよりも中海がきれいになっていると思った。
- ・水はすごくきれいで汚くなんかなかった。
- ・魚もいて楽しかったし、貝もいっぱいとれた。

【今年も元気に泳ぎました！】



【アサリの放流】

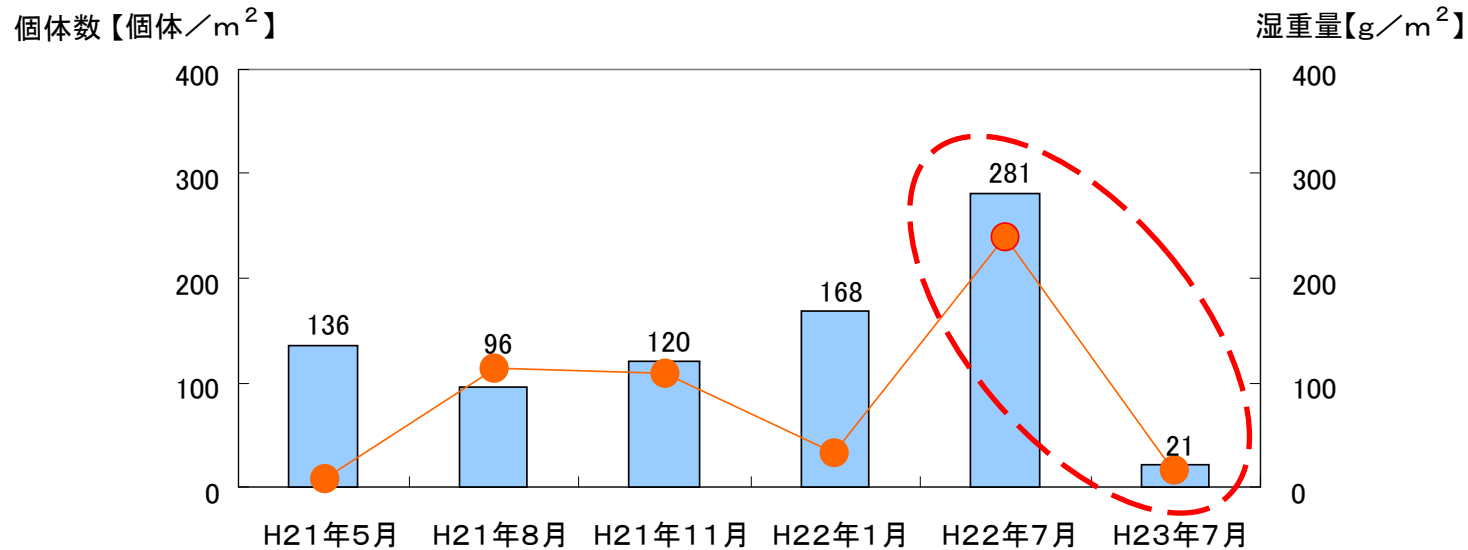


【現地で採取したアサリの稚貝】



【中海産のアサリでみそ汁】

アサリの生息量調査 結果



※7月22日に調査した時の数であり、中海全体の状況を示している訳ではありません。 ■ 個体数 ● 湿重量

～担当者からのひとこと～

残念ながら今年の調査結果ではアサリは減っていましたが、ホトギスガイやムラサキガイなど多くの二枚貝が見つかりました。二枚貝は植物プランクトンを食べて水をキレイにしてくれています。今後も魚や貝などの生き物が住める場をつくり、中海の水質改善に取り組んでいきます。